

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ ご告知いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告ができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)	みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットプース(みずほ銀行内の店舗) でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできま せんのでご了承ください。	
未払配当金の支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

- 株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
- このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】

- * 配当金に関する支払調書
- * 単元未満株式の買取・買増請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル **0120-84-0178**

第79期 株主通信 [中間報告書]

2019年4月1日~2019年9月30日



2019年5月7日(火)より本社事務所を下記住所に移転しております。

平河ヒューテック株式会社

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号 相鉄田町ビル7F
TEL 03-3457-1400 ホームページアドレス <https://www.hewtech.co.jp/>



平河ヒューテック株式会社

証券コード:5821

基本理念

Philosophy

- 1 わが社は、世界水準の製品を創り出すことにより、持続的な成長を遂げ、永遠の存在を目指す。
- 2 わが社は、有意義な製品とサービスを供給することにより社会に貢献する。
- 3 わが社は、国際社会に共生する一員であることを意識するとともに、法規等を遵守し、環境保全に努力する。
- 4 わが社は、すべての関係者・機関に調和のとれた満足を提供することを目標とする。
- 5 わが社は、互いの価値を認め合う人々の集団であり、熱意をもって向上・革新へ挑戦していく。

Our Products

平河ヒューテックの製品



株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役 執行役員社長

篠 祐一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。第79期の株主通信[中間報告書]をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、半導体関連の設備投資は弱含みましたが、電装化の進むカーエレクトロニクス市場は引き続き堅調に推移しました。

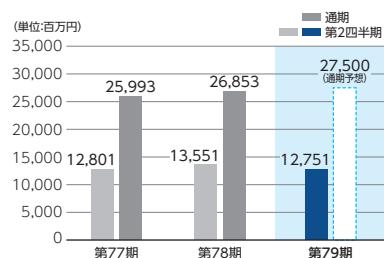
このような事業環境の下、電線・加工品セグメントにおいては、北米の太陽光発電市況に回復がみられたことにより、エネルギー産業関連ケーブルの売上は堅調に推移しました。車載市況も一時的な調整が一服し、車載用ケーブルの売上は回復基調となりました。半導体メーカーの設備投資は引き続き厳しい状況にあることから、半導体製造装置用ケーブルの売上等が減少となり、売上高は103億81百万円(前年同期比8.8%減)となりました。売上高の減少等によりセグメント利益は11億23百万円(同15.2%減)となりました。電子・医療部品セグメントにおいては、4K/8K放送に対応した放送機器の売上が堅調に推移し、診断用及び治療用の医療用特殊チューブの売上も微増となったこと等により、売上高は22億93百万円(前年同期比9.7%増)となりました。付加価値の高い製品の売上が増加したこと等によりセグメント利益は5億5百万円(同102.1%増)となりました。

以上の結果、このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、エネルギー産業関連ケーブル及び放送機器の売上は堅調に推移しましたが、半導体製造装置用ケーブル等の売上が減少したことにより、売上高は127億51百万円(前年同期比5.9%減)となりました。売上高の減少及び本社移転に伴う一時費用等が発生したことにより、営業利益は12億76百万円(同2.6%減)となりました。9月末にかけた円高の影響及び新子会社(HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.)設立に伴う創立費等が発生したことにより、経常利益は12億25百万円(同13.0%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は9億30百万円(同13.4%減)となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき12円とさせていただきます。役員・従業員一同、一層の努力をしております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

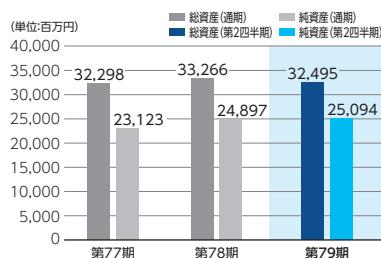
▶ 売上高



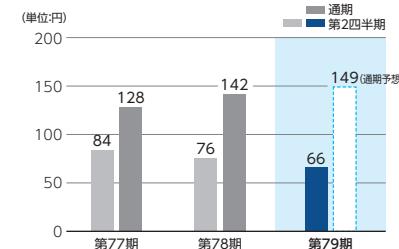
▶ 経常利益/親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



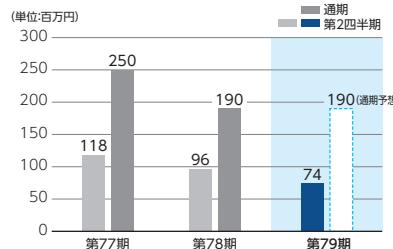
▶ 総資産/純資産



▶ 1株当たり四半期(当期)純利益



▶ 研究開発費



▶ BPS(1株当たり純資産額)



2019年12月

▶ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	19,218	20,497
現金及び預金	6,827	7,956
受取手形及び売掛金	7,275	6,946
たな卸資産	4,343	4,706
その他	773	888
固定資産	13,276	12,769
1 有形固定資産	10,532	10,137
無形固定資産	642	618
投資その他の資産	2,101	2,014
資産合計	32,495	33,266

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2019年9月30日現在)	前期 (2019年3月31日現在)
(負債の部)		
2 流動負債	4,044	4,678
3 固定負債	3,355	3,690
負債合計	7,400	8,369
(純資産の部)		
株主資本	24,304	23,563
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	23,630	22,889
自己株式	△2,340	△2,340
4 その他の包括利益累計額	790	1,333
純資産合計	25,094	24,897
負債純資産合計	32,495	33,266

- POINT 1** 「有形固定資産」は、前期末に比べて3億95百万円増加となりました。主な要因は、「固定資産その他(純額)」が3億36百万円増加(主に新会社工場建設資金の一部)したことによるものです。
- POINT 2** 「流動負債」は、前期末に比べて6億33百万円減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものです。
- POINT 3** 「固定負債」は、前期末に比べて3億34百万円減少となりました。主な要因は、「長期借入金」が4億2百万円減少したことによるものです。
- POINT 4** 「その他の包括利益累計額」は前期末に比べて5億43百万円減少となりました。主な要因は、円高による「為替換算調整勘定」が6億6百万円減少したことによるものです。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	12,751	13,551
売上原価	9,407	10,174
売上総利益	3,344	3,376
販売費及び一般管理費	2,067	2,065
営業利益	1,276	1,311
営業外収益	56	107
営業外費用	107	9
経常利益	1,225	1,409
特別利益	2	5
特別損失	0	-
税金等調整前四半期純利益	1,226	1,414
法人税、住民税及び事業税	339	336
法人税等調整額	△43	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	930	1,074

▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,291	1,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,119	△1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△733	△656
現金及び現金同等物に係る換算差額	△265	214
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,827	263
現金及び現金同等物の期首残高	7,620	6,364
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,792	6,627

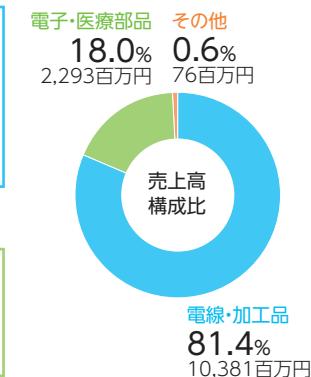
セグメント情報

電線・加工品

北米の太陽光発電市場に回復が見られたことにより、エネルギー産業関連ケーブルの売上は堅調に推移しました。車載市場も一時的な調整が一旦し、車載用ケーブルの売上は回復基調となりました。半導体メーカーの設備投資は引き続き厳しい状況にあることから、半導体製造装置用ケーブルの売上等が減少となり、売上高は103億81百万円(前年同期比8.8%減)となりました。売上高の減少等によりセグメント利益は11億23百万円(同15.2%減)となりました。

電子・医療部品

4K/8K衛星放送に対応した放送機器の売上が堅調に推移し、診断用及び治療用の医療用特殊チューブの売上も微増となったこと等により、売上高は22億93百万円(前年同期比9.7%増)となりました。付加価値の高い製品の売上が増加したこと等によりセグメント利益は5億5百万円(同102.1%増)となりました。

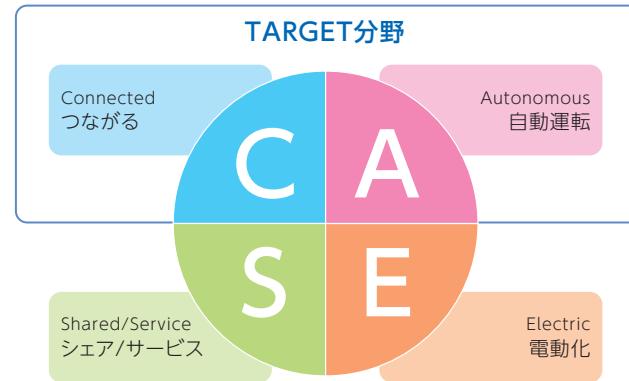


車載用ケーブル事業についての取り組み

自動車業界の今後の方向性を示す言葉の一つに「CASE」があります。「CASE」は、Connected(つながる)、Autonomous(自動運転)、Shared/Service(シェア/サービス)、Electric(電動化)を表しており、当社はこの中で「Connected」と「Autonomous」の分野において、車載用ケーブルを展開しております。

「Connected」の分野においては、自動車のIT化により情報量が増加し車内/車外のネットワークは高度化しつつあります。また「Autonomous」の分野においてはADAS(Advanced Driver Assistance System 先進運転支援システム)や、自動運転に向けてセンサー性能の向上が進み、車載用ケーブルにはますます高速大容量伝送、高信頼性が求められております。

これらConnected(つながる)、Autonomous(自動運転)の機能の普及によって市場は大きな拡大をみせております。当社は半導体製造装置やスーパーコンピュータ用のケーブルで培った高速伝送技術を活かし、製品設計、製造技術、設備、工程設計、品質マネジメントといったすべての質を高める取り組みを続け高信頼性を実現することで、車載用ケーブル事業の拡大を目指してまいります。



▶ 会社概要

商号	平河ヒューテック株式会社 HIRAKAWA HEWTECH CORP.
設立	1948年9月
資本金	15億5,507万760円
従業員数	2,328名(連) 259名(単)

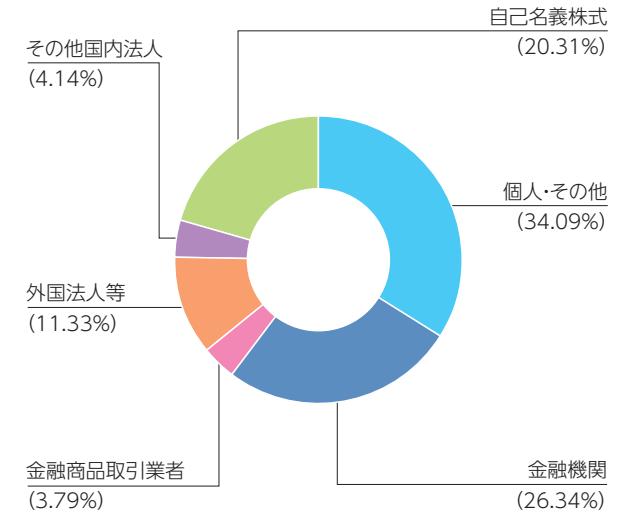
役員氏名

ヒューテックグループ代表	
取締役 会長	隅田 和夫
代表取締役	篠 祐一
取締役	目黒 裕次
取締役	宇梶 大
社外取締役	湯佐 富治
社外取締役	沼田 恵
常勤監査役	橋本 孝
社外監査役	阿部 博
社外監査役	江部 安弘
執行役員 社長	篠 祐一
執行役員	椎名 祐一郎
執行役員	石戸 隆雄
執行役員	澤口 健一
執行役員	日高 浩
執行役員	小野 関義孝
執行役員	大滝 博紀
執行役員	林 繁夫

▶ ヒューテックグループ

海外拠点	国内拠点
<ul style="list-style-type: none"> ● 連結子会社(製造) HIKAM ELECTRONICA DE MEXICO, S.A. DE C.V. HIKAM TECNOLOGIA DE SINALOA, S.A. DE C.V. 福泰克(深圳)電子有限公司 HEWTECH (THAILAND) CO., LTD. ● 連結子会社(販売) HIKAM AMERICA, INC. 上海河拓克貿易有限公司 福泰克香港有限公司 台湾福泰克股份有限公司 HEWTECH (BANGKOK) CO., LTD. ConnPro Industries INC. ● 連結子会社(製造・販売) 福泰克(連雲港)電子有限公司 HEWTECH PHILIPPINES CORP. HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本社 ● 営業拠点(営業所) 営業本部 東北営業所 北関東営業所 中部営業所 関西営業所 ● 開発・生産(工場・事業所) 古河事業所 桃生工場 福島工場 新潟工場 ● 連結子会社(製造・販売) 四国電線株式会社 株式会社新潟電子

▶ 所有者別株式分布状況



当社ホームページのご案内

<https://www.hewtech.co.jp/>

IR情報をはじめ、当社をよりご理解いただくための情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。